

2021 年度普及啓発事業の実施結果について

1 企業向け小冊子の作成・配布

(1) 内容

- 障害当事者が日常的に接する機会が多い3業種別（小売、金融、交通）に小冊子を作成。
- 障害の特性、主なコミュニケーション手段と配慮、障害のある方が事業者に配慮してほしいこと、障害者差別解消法の改正による民間事業者の「合理的配慮」提供義務化、各業種に関連する簡単な手話紹介、各種障害に関するマークについて掲載。

(2) 作成部数

30,000部

(3) 配布先

- 10月27日開催の障害者理解促進シンポジウムで企業担当者配布し、小冊子の内容を説明。
- 今年度中に県内約1,000箇所の事業所（小売、金融、交通）へ配布予定。

2 障害者理解促進シンポジウム

(1) 日時

令和3年10月27日（水）13時から16時15分まで
 （名古屋ハローワーク中・東・南主催の2021障害者雇用促進セミナーと共催）

(2) 場所

昭和 문화小劇場

(3) 対象者及び参加者数

県内企業担当者等 130名（120社）

(4) 実施内容

- 第1部 基調講演「当事者との対話が生み出す企業サービス
 ～民間企業ができる障害のある方への配慮について～」
 講師 認定NPO法人DPI日本会議 事務局長 佐藤 聡

東京オリンピック・パラリンピックの成果として、新国立競技場の整備に係るユニバーサルデザインワークショップや新幹線のバリアフリー対策検討会等、当事者と企業等の建設的対話から生まれたバリアフリー整備の実例を御紹介いただいた。また、障害者権利条約における社会モデルの考え方、2021年6月の障害者差別解消法改正に係る事業者の合理的配慮義務化等について、事例を交えて、分かりやすく御説明いただいた。

○ 第2部 民間企業の取組紹介

パネリスト 一般社団法人豊橋市薬剤師会 会長 中嶋 孝任
 名古屋タクシー協会 副会長 石川 優
 コメンテーター 認定NPO法人DPI日本会議事務局長 佐藤 聡
 コーディネーター 社会福祉法人AJU自立の家 水谷 真

- ・豊橋市薬剤師会の中嶋会長からは、「豊橋手話ネットワーク防災対策委員会」と「豊橋市薬剤師会」の連携により作成した「薬に関する絵カード」の取組を御紹介いただいた。
- ・名古屋タクシー協会石川副会長からは、2021年3月に名古屋市・名古屋市障害者差別相談センター、名古屋タクシー協会が連名で発行した「名古屋市版 トヨタ JPN タクシー車いす乗車ガイド」の取組を御紹介いただいた。

○ 行政説明 「手話言語・障害者コミュニケーション条例の推進」

愛知県福祉局福祉部障害福祉課 担当課長 坂上 滋泰

条例推進の概要及びこれまでの取組を説明した。（条例リーフレット、コミュニケーション支援アプリチラシ、小売業版小冊子、ヘルプマークチラシ、補助犬リーフレットを配布）

(5) アンケート結果

○ 第1部 基調講演

たいへん参考になった	26.2%
参考になった	54.6%
どちらでもない	6.2%
あまり参考にならなかった	2.3%
参考にならなかった	0.0%
無回答	10.8%

○ 第2部 民間企業の取組紹介

たいへん参考になった	22.3%
参考になった	49.2%
どちらでもない	13.1%
あまり参考にならなかった	3.1%
参考にならなかった	0.8%
無回答	11.5%

(主な感想・意見)

- ・障害のある方との共生社会を目指す取り組みをたくさん伺うことができて良かったです。また、このような企画がありましたら、ぜひ参加させていただきたいです。
- ・障害のある方との話し合いの重要性と相手への理解の必要性が分かりました。
- ・障害者への配慮を行うユニバーサルデザインを取り入れることで終わりにするのではなく、課題の発見や改善を続けて行く姿勢の重要性を再認識いたしました。
- ・「普段当たり前だと思っていたことがそうでない場合」を考えるよいきっかけになりました。自分たちでもっとできることがないか検討してみようと思いました。
- ・企業の雇用担当として来ましたが、小売業としてお客様対応の事例も有意義に聞かせていただきました。
- ・これからの社会ではバリアフリーが当たり前になって、一人一人が障害のある方に対する知識をつけていく必要があると感じました。